

家庭総合

指導目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。
------	---

教材	教科書：「家庭総合 自立・共生・創造」（東京書籍） 学習書：「家庭総合 自立・共生・創造 学習書」 レポート・学習ノート	レポート 面接指導 放送 到達度チェック・試験	全9回 必要時間数：4時間 全40回（N-gaku Online Spaceで視聴。高校講座HP視聴可。） 中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）
----	--	----------------------------------	--

単位	4単位
評価	<p>【①知識・技能】 レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【②思考・判断・表現】 レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【③主体的に学習に取り組む態度】 レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックの成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。</p> <p>上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。</p>

添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導		中間到達度チェック 年度末試験	
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容	内容・範囲
4			①②	1 「家庭総合」の学習の概説 ●家庭総合で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。特にレポート	1	自立ってどういうこと？	オリエンテーション（VOD） ・科目の学習概要の説明		
			2 4・5・7・9回には報告課題があり、見通しを持って計画的にレポートを仕上げていくことの大切さを理解する。						
			3 ●家庭総合を学ぶにあたってのウォーミングアップとして教科書p.15 TRY自立度チェックを通し「自立」について考える。	2	人生設計…今できることは？				
			4	3 差別はもうなくなった？					
5	第1回 (5月20日)	「生涯を見通す」 ・人生を展望する ・目標を持って生きる 「人生をつくる」 ・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会	③④	1 第1回レポート 指導単元名「人生をつくる」 学習目標・内容	4	対等な関係ってなんだろう？			
			2 ●社会制度としての家族や家族に関する法律について学び、多様化するライフコースとの関連について考える。特に結婚や離婚など、将来の自分の生活設計と結び付けて具体的にイメージできるようになる。	5	結婚いろいろ…？				
			3 ●仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて学ぶ。ジェンダー・バイアスや性別役割分業意識がもたらす影響と、その解消のために必要なことについて考える。	6	家族ってなに？				
			4	7 二択で行き詰った！そんなときは？ 8 ご近所づきあいはメンドクサイ？					
6	第2回 (6月20日)	「子どもと共に育つ1」 ・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・子どもと関わる ・子どもとの触れ合いから学ぶ	⑤⑥	1 第2回レポート 指導単元名「子どもと共に育つ1」 学習目標・内容	9	私の体は誰のもの？			
			2 ●命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について学ぶ。	10	赤ちゃんってどんな生き物？				
			3 ●子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。発達の目安は教科書p.54～55の表を用いて体系的に理解する。	11	どんな子育てをしたい？				
			4 ●子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。	12	子どもが子どもでいるためには？				

7			<p>⑦⑧ 第3回レポート</p> <p>1 指導単元名「子どもと共に育つ2」 学習目標・内容 ●社会全体で子育てをしていくために、現代の子育て環境の変化や課題（夫婦共同の子育て、集団保育の在り方、子育て支援策など）について理解する。</p>	<p>13 「高齢者」って誰のこと？ 14 要介護…どう支える？</p>		
	第3回 (7月20日)	<p>「子どもと共に育つ2」 ・これからの保育環境 「超高齢社会を共に生きる」 ・超高齢・大衆長寿社会の到来 ・高齢期の心身の特徴 ・高齢者の自立を支える</p>	<p>第3回レポート</p> <p>指導単元名「超高齢社会を共に生きる」 学習目標・内容 ●超高齢社会の背景を理解するとともに、加齢に伴う心身の変化、高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ●高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。特に介護保険制度の仕組みや課題を理解する。 ●高校講座「第15回」の放送を利用しながら高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。</p>	<p>15 「助ける」立場？「頼る」立場？ 16 福祉制度は誰のため？</p>		
8			<p>⑨⑩ 第4回レポート</p> <p>1 指導単元名「共に生き、共に支える」 学習目標・内容 2 ●一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。 ●多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。</p>			
	第4回 (8月20日)	<p>「共に生き、共に支える」 ・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる ※「保育」「高齢期」「共生」の振り返り探究課題あり</p>	<p>3 これまでの生活を振り返り、自分自身が感じた暮らしにくさを考えるとともに、身の回りのユニバーサルデザインを探してみる。 4 ●社会保障制度の理念と内容を学ぶ。</p>	<p>17 「それがフツウ」…本当に？</p>	前半の振り返り動画配信	
9			<p>⑪⑫ 第5回レポート</p> <p>1 指導単元名「食生活をつくる1」 学習目標・内容 2 ●生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ●栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。（可能な範囲で、教科書p.113 TRY</p>	<p>18 気づいてる？多様化する社会 19 なんのために人は食べるの？</p>		
	第5回 (9月20日)	<p>「食生活をつくる1」 ・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全 ※調理実験報告課題あり</p>	<p>3 小麦粉のグルテンの形成について、体験的な学習を取り入れる) 4 ●安全で衛生的な食生活のために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</p>	<p>20 栄養バランスをとるコツは？ 21 食生活、はじめの一歩！</p>		中間到達度チェック (レポート第1回～3回)
10			<p>⑬⑭ 第6回レポート</p> <p>1 指導単元名「食生活をつくる2」 学習目標・内容 2 ●「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを食事摂取基準や栄養価計算などを通して学ぶ。（レポート課題〔たんぱく質の1日の摂取目標量を求める課題〕を活用しながら、自分自身に必要な栄養素量を理解する。）</p>	<p>22 調理の仕方をどう学ぶ？ 23 いろんな人、いろんな食事</p>		
	第6回 (10月20日)	<p>「食生活をつくる2」 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・食生活の文化と知恵 ・これからの食生活</p>	<p>3 ●食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理法の種類と特徴、調味料の計量方法、味の相互作用などを知る。配膳やマナーにも関心を持てるようにする。（可能な範囲で調理実習をする。） 4</p>	<p>24 食べられるのが、当たり前？ 25 なんのために人は着るの？</p>		
			<p>⑮⑯ 第7回レポート</p> <p>1 指導単元名「衣生活をつくる」 学習目標・内容 2 ●被服のさまざまな役割を整理する。 ●被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などの意味を</p>	<p>26 服の理想の素材とは？ 27 大切な一着を長持ちさせるには？</p>		

11	第7回 (11月20日)	「衣生活をつくる」 ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・被服を作る ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活 ※製作実習報告課題あり	知る。 可能な範囲で高校講座「第26回」の放送 を利用しながら体験的に学ぶ。 3 ●汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適 した洗濯や保管方法を知る。 4 ●平面構成と立体構成の違いを知る。 ●被服製作の基本的事項を確認し、手縫 いで製作ができる。(可能な範囲で製作 実習をする。)	28 服なんて作れない? 29 おしゃれかも!和服・世界の民 族衣装 30 激安の服発見!…ラッキー?		
12	第8回 (12月20日)	「住生活をつくる」 ・住生活の変遷と住居の機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活	⑰⑱ 第8回レポート 1 指導単元名「住生活をつくる」 学習目標・内容 2 ●住居の機能を考える。 ●平面図の基礎知識を習得し、間取りや 動線について理解する。 ●ライフステージに合った住居を考え る。 ●室内外の環境に着目し、安全性・快適 性などを考慮する必要性を理解する。特に 防災について、教科書p.212~213を中心 に、ハザードマップの活用や、住居の耐 震と減災方法について具体的に知り、防 災についての意識を高める。 4 ●バリアフリーの考え方を理解する。 ●住環境における地域社会とのつながり の重要性を理解し、持続可能な住生活と は何か考え、(可能な範囲で)意見交換 する。	31 なんのために人は住むの? 32 どんな部屋で暮らしたい?	後半の振り返り動画配信	
	第9回 (2月5日)	「経済生活を営む」 ・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・家計をマネジメントする ・これからの経済生活 「持続可能な生活を営む」 ・持続可能な社会を目指して ・一人一人の力で社会を動かす ※持続可能な生活に向けた取り組み の報告課題あり	⑲⑳ 第9回レポート 1 指導単元名「経済生活を営む」 ●消費行動における自分の意思決定の重 要性とそのプロセスを理解し、行動でき るようになる。 ●キャッシュレス社会のメリット・デメ リットを考え、契約や消費者信用、多重 債務問題などを学習し、消費者として適切 な判断ができるようにする。 3 ●消費者基本法を通して、消費者には権利 と責任があることを理解する。 4 ●高校卒業後について、経済的自立と職 業について主体的に考える必要性を理解 する。	34 防災①地域と暮らしを見直そう 35 防災②衣食住を見直そう 36 買い物で失敗…どうしよう? 37 どんなふうに働きたい?		年度末試験 (レポート第4回~7回) 年度末追試験 (レポート第4回~7回)
2	第9回 (2月5日)	「経済生活を営む」 ・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・家計をマネジメントする ・これからの経済生活 「持続可能な生活を営む」 ・持続可能な社会を目指して ・一人一人の力で社会を動かす ※持続可能な生活に向けた取り組み の報告課題あり	㉑ 第9回レポート 指導単元名「持続可能な生活を営む」 ●日本のSDGs各目標の達成状況と課題に 気づくなど、持続可能なライフスタイルの 表現に向けて、身近な生活と環境との関 わりについて理解する。 2 ●エシカル消費なども含め、消費行動に は力があり、社会を動かすことを理解す る。	38 お金と人生の幸せな関係とは? 39 どうなってる?100年後の暮ら し		後期生年度末試験 後期生年度末追試験 (レポート第4回~7回)
			3 4	40 これからの人生をどうしたい?		
3			1 2			
			3 4			